

# 琉球大学学術リポジトリ

## 必要書類集

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2021-09-08 キーワード (Ja): 所収コレクション : 琉球大学附属図書館宮良殿内文庫, 宮良殿内 (みやらどうんち) キーワード (En): In Collection: The Miyara-Douchi Collection (University of the Ryukyus Library) 作成者: 宮良當整 (筆写) , 2021/9/8 16:10 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/49240">http://hdl.handle.net/20.500.12000/49240</a>

明治廿五年改定

必要書類集

官直以書整

明倫彙編

公督源書類集

宮良尚整

心  
...  
...

桃里村廿二年ヨリ本年迄迄之約言テ又ハ  
後免の洞市是ルニヨリハ米シテ積蓄セリ粟ア  
ルモ後カニ石名余ニ過キス依ルニ明大也トテ  
ヨリ本年十日迄交租氏妻トシテ付トモ本  
葉下而丸ハ細付ト又ハ免收或ルニ石名斗ニ米  
門斗ハ後カニ石名過キス余ノ妻或ルニ石名斗  
ニ米ハ免ト當シ以テ細付也リト云スヤ人ノ氏ハ  
辛酸若新漸ク收メ又ハ斗十ハモ免租トヤ  
因氏又ハ新積貯トシテ之也サハカニ甘知  
山氏又ハ新積貯トシテ之也收メ又ハ斗十ハ

首祖ト氏其ハ八國ヨリ同日ノ波ニアラサトモ  
氏其ハ余氏天此リノ氏ハ出采ノ其從取徒  
送付スルハ書所ノ有電ト多クハハハ首祖向帝  
ノヨリハ物ハニ天柏ラハ事ラニ事ニ換ハ何付ニ  
何取ナシヤ其現由海ノ東知ハ度其地ハ  
訪ハ情也

此後言ナリトテ 屬其國ノ古傳ハ依  
此ノ言ニ依テ 高祖ノ數

此ノ事ハ古ハ古西ノ言ニ由リテ其言ニ依テ  
亦ハ一也

桃里村年氏其ハ八國ヨリ同日ノ波ニアラサトモ  
氏其ハ余氏天此リノ氏ハ出采ノ其從取徒  
送付スルハ書所ノ有電ト多クハハハ首祖向帝  
ノヨリハ物ハニ天柏ラハ事ラニ事ニ換ハ何付ニ  
何取ナシヤ其現由海ノ東知ハ度其地ハ  
訪ハ情也



不足トナリタレテる實ハ全ク没第書ハ  
名付夫ヨリ全ク没出ニタリ書於依判以  
ナリ又書モ名ハ貯高ニ愛心ト切テる勢元  
相互任名ナレモ相ナリテ該規則依リ云レテ  
而相ナリカス自ラ寄持トナレ居レ依リ而  
ナリ終接錯雜ト書レ（以モ書モ） （又カキテ）  
ハ書ト云レテカラテ免スレ職務ニ為レ  
ト致レ而付名没書モ没又之ニ付名没書  
元、惣額河カテ付名（三ノ九區名ハ没書） 月九  
トナレテるモモハ如レ家正別由通

毒ハカテマテ而後タテ通テ一カモリ

以候五月二十日、三島島、沼田長太郎

政之人宛

始末書

將節没而負額片ナク之故取テ地方ニ付  
貯書而元没書相模布上書、当而國元、以  
寄取ナレ又ハ信利、テ家書ハ、（三ノ九區名ハ没書）  
四月廿日付名没書、沼田水任、依、（三ノ九區名ハ没書）  
私儀、（三ノ九區名ハ没書）、沼田水任、依、（三ノ九區名ハ没書）  
病、（三ノ九區名ハ没書）、初他入仕、（三ノ九區名ハ没書）





抄物堂元洞去後病者多之云云  
寛永九年三月  
宗良子宗

宗子家

今般亦六重性才三八号の以テ津達流年  
依高村子出生二年省細布免稅者一政  
院四世宗子高三子信右細布免稅者  
其成減免稅者法也其後生高三子  
高三子細布免稅者加免稅者信右宗子  
村子信右子信右子信右子信右子  
牛加免稅者信右子信右子信右子

他に出生之し助力無かり首事令お敷  
中世神主亦法有首事通村の信右ハ  
信右子高三子信右子信右子信右子  
有るもの信右子信右子信右子信右子

宗良子宗

宗良子宗

宗良子宗

宗良子宗

宗良子宗

記

但半反播者

作稻開花、景况

当村人民等本年年度植付、稻ハ二月中旬比ヨリ  
二月下旬ニ至リ終結ス則チ前年比ニテ五日程  
期節早カリキ去リトラ植付以來早魁、及  
夫水田ハ水全ク涸レタラ以テ稻々々枯槁、体ニテ  
其葉黃褐色ニ變シ水田ハ水量全ク涸レタリトハ  
アラ子ニ其成長、形勢亦拙劣ナリキ然レテ幸ニ  
四月下旬比ヨリ折、降雨アリシ依リ天水田モ漸ク  
水シ受ケ水田ハ水量ヲ從テ各田々成長漸ク

宜ク水田、稻穂出揃、田天水ハ指多、八程出揃  
早魁惱マセラル、甚ニカリシ故十本植付トモム  
漸ク二三本乃至五本計生長シ余、若テ本ハ  
枯朽ニテ穂出モ漸ク指多ノ一伍ナリ加之開花、  
折北風烈シキ為メ指多ノ三程空穂ナリ目下ノ  
景况ニ依レハ例年、比ニテ作ハ及ハサレ氏下作ハ  
至ラサレ見込ナリ

右報告ニ候也

白保村誌自善

明治廿八年六月五日

野里為副

全興人

宮良 吉 敷 正

八重山島藏元 濟 之

作 稻 開 花 の 景 況

盛山村人民等本年年度植付、稻ハ一月中旬比ヨリ  
植始、二月中旬比至リ終結ス、則チ相当期節ヨリモ  
植付、早魁ノ災、憂アリシタメ、天水田ハ水大、表ヨリ  
來シ、稻モ枯滅シ、又ハ其葉枯色ニ、麦ハ水田ハ水量  
全ク潤レタシ、ニアラザレハ、左程ノ害ナキ、凡サ成長ノ  
形勢亦平順ナラサキ、然ルニ四月下旬頃ヨリ

折ノ降雨アリシ、依リ、天田モ漸ク水ヲ受テ、水田モ  
水量ヨリ増シ、各田共ニ成長漸ク、繁茂、水田ハ  
稻穂、指多ク、八程、掛リ、天水田ハ、早魁、惱シ、凡ク  
甚シカリシ、故生ニ、多ク、苗子、本、植付、モノハ、漸ク  
二三本、至、乃、五六本、計、成長シ、余ハ、括、括、ニ、テ、出、穂、キ  
一二位、ナリ、加、之、開、花、ノ、折、北、凡、烈、キ、力、又、指、多ク、三、程  
空、穂、ナリ、目下、景況、ニ、依、レ、ハ、例、年、比、中、作  
ニ、モ、及、ハ、サ、レ、氏、下、作、ハ、至、ラ、サ、レ、見、込、ナリ

盛山村夏白保村誌月差

野里 為 副

明治廿八年六月五日



西条川の中流に於て、水は濁り、田は荒れ、民は苦しむ。此の如き時は、水は濁り、田は荒れ、民は苦しむ。此の如き時は、水は濁り、田は荒れ、民は苦しむ。

西条川の中流

西条川の中流

右の如く、田は荒れ、民は苦しむ。此の如き時は、水は濁り、田は荒れ、民は苦しむ。此の如き時は、水は濁り、田は荒れ、民は苦しむ。

西条川の中流

西条川の中流

野田村

當村民作付、小麦大麦、各年三月、初頃播種。然るに、其後雨量少く、生長期即ち三月、頃、降雨少く、土地乾燥。ナリシカ、麥草五、拾、五、ナラス。又半熟、際、即ち三月、頃、降雨、多ク、加フルニ、降霧。旁、火害ヲ被リ、谷、空、実、至リテ、モ、亦、不、良、ニ、シ、テ、尤、薄ク、増テ、依、濕、ナル、場所、如キ、ハ、腐、朽、或、病、癘、シ

生シ空穂ナリニ故刈採為サズ依テ收穫高大ニテ  
平年ニ比スレハ下ニ作ナリ先ニ反歩年約收穫小  
麥ハ言斗五斗ツ右大麥ハ言斗五斗合ハ夕四斗  
小麥作反別七反六畝指言歩大麥九畝八歩合  
八反五畝指九歩ナリ  
右報告ニ矣也

桃里村夏白保特茂也

明治廿八年

宮良當整

八重山島藏元柳也

当村民本年作甘稻八月中旬頃ヨリ三月初頃迄

至リテ押狭ス期節ハ尤通順ナルモ生長期即チ月  
上旬頃ヨリ五月上旬頃マテ降雨ナキガ為メ水量ニ  
且場所次第亀裂ヲ生シ依テ其生長繁殖不  
充分ニシテナス亀裂セシテ所ハ惱マシラレテ甚々シ  
カリキ然ルニ幸ヒ五月中旬頃ヨリ降雨屢ミアリテ  
潤澤シ得テ故漸ク復活ノ勢アリシモ既ニ生長ノ季  
節シ過シ將ニ開花ナラントスル時期ナレハ指分  
効ラ見ス去リナガラ氣候適順ニヤ開花ニ障害  
ナク早稲穂出揃中作ハ指分ハ晩作ハ半方程度  
花セリ目下ノ景況最モ宜ク尔店愛災ナキハ良

好、勢ナリニモ以上、如キ發芽殖不良ナレ故全体ヨリ、  
云ハハキ作十九日ニ  
右報告ニ矣也

桃里村夏目保村諸共

明治廿八年

宮良當整

藏元柳中

当村人民作付り小麥大麥ハ客年十月下旬ヨリ全  
十二月上旬マテニ播種ニ然レニ夏后降雨少土地最モ  
乾燥セシ為メ生長ナラズ且ツ半熟際即チ  
三月頃ニハ降雨繁ク依濕ナル場而シ如キハ間ニ

腐朽スモヨリ殊ニ降霧ノ災害ニ被リテ登熟ニ  
至リテモ亦不良種寡細ク收額大ニ少ク年々比スル  
下ニ作ナリ先ニ反斗ノ年約收穫高小麥ハ七斗  
五斗、合九斗大麥ハ斗七合斗九斗作付反別  
小麥壹町五反七畝、指斗大麥四反、畝指斗合ニシテ  
三町半反斗指五斗ナリ  
右報告ニ矣也

盛岡村夏目保村諸共

宮良當整

明治廿八年

八重山島藏元柳中

当村人民本年作付稻一月中旬頃より植始  
全下旬に至りて終結ス烟節ハ最モ適順ナルモ生  
長期即チ四月初頃ヨリ五月初頃マテ降雨ナキ  
依リ肝柄次第亀裂シ生シ或ハ水量乏シク為  
其生長繁殖不充分ニナラス亀裂セシ肝ハ  
惱マセラルコト甚々シカリキ然ルニ五月中旬頃ヨリ  
潤雨得タルヲ以テ幾分カ復活ノ勢ニアリシモ  
既ニ開花生長期尙経過將ニ開花ナラント  
スレノ時期ナレハ左マテノ効ヲ見ス去リナカラ  
氣候適順ニヤ開花ニハ障害ナシ早稲ハ

穂々揃晩稲ハ半方程開花セリ目下稟况最モ  
宜ク他日夏災ナキレハ良好ノ形勢ナルモ前述ノ如  
繁殖生長不充分故全体ヨリ許セハ穂ニテ中  
作ノ見込ナリ  
右報告ニ矣也

威山村兼白保村誌撰人

明治廿八年

宮良 當 敷 正

八重山島嶽元部中

西表村ニキス製炭場跡島嶽元部外  
そ石モ々亦没費入る。件付亦九島嶽外





園籠の松々意之者おかか交止人民同也  
後文の此の氏小く家之者事造有共百  
二法清石中中如右方此千之也

桃豆丹志書律法同也

治承六年十月

之号

野見為副

八雲心教の元法中

官良高整

列後解者之通う方送之四取り付法蓮任也

治承六年十月

改人 姓名

願

桃豆丹志書律法同也

又凡の之

右凡の之事 尚村人に表徴付る解承字向  
ノ為メ去以流お年 寄良如ヨリ寄人ニテ亡父  
共ニ轉籍之字年寄既之法に物免後表  
法意ニ其受以流亦之年八月ヨリ官良高切  
野衣二村ハ当地平民松原ニ移方今當ニ  
治承六年書寄留改ニ實際在ニ取レ  
去歸ノ亦在政廣ニ居ル物也

今年万石免稅セラレタラキを以て他村へ下り置  
 統體セシムルハ其部内ナリ次也ナリ以テ川原ガ  
 舟是也是處役不ナリ免テ所説流シ置  
 其部亦承流ル方ヤテタレタレ一切以テ  
 右村ノ流也ナリハ不底新川ノ次也ナリ  
 其ノ右志有担テ流シ物ノ産原方ノ置テ  
 往復スルハ甚々面倒ナリハ不底ナリ  
 何卒特別ノ所設流シテ右志ナリハ  
 流燈以テ所設可置テ下流ナリ也  
 明治九年三月  
 五右衛門  
 五右衛門名保久利

免元法中

八重山島云田類ノ調査

家畜牛馬頭數 牝牛百三十二頭 牝馬百九頭 北牛馬較多々々

モリナシ

重田畑耕鋤並諸物運搬ノ為メ傍ラ賣拂

又ハ食用ノ為メナリ

舎飼スルナリナリ總テ原野ニ較系ノモノニテ其割

舎養ノハ指分中較系飼ニ分四里放牧六七分

六里ノ相ナリ

家飼養スルモノナリト全較系飼ニ放牧セシ馬

全体に付調査スル牛ハカノ如シ

(1) 家飼養良シタルモノナキト云々畜舎ノ位置構造ナシ  
(2) 原野繫家畜置キハ天然ニ生ズル草類ニ良シ  
家畜庫ニ来ル牛ハ唐芋皮或ハサカツラ又桑葉  
ノ類ニ食セシム

(3) 繁殖ニ用スル牛ハ四五才ノ際ヨリ大依牧  
場ニ入ルニ依ラスニテ交尾セシム朔時ハ重ニ  
十月十一月ノ頃ナリ

(4) 選擇方法ナシ牝牛馬ニテハ總ラ牧場ヨリ  
連テ来ラ原野繫テ先ツ其牧場ヨリ取ル

年令馬ハ滿ニ才頃牛ハ滿ニ才大今月頃ニテ  
生産店馬ハ三才牛ハ滿才ノ頃ヨリ使役ス  
牝馬ヲ使用スルハ只牝馬ナキカガメニ使用スル  
生産スルヤ母牛馬保護ニテ生長セシム而シテ  
去勢スル等ノナシ

(5) 使用小田生マシ際ハ人為ニテ保護スルナシ  
(6) 使用ハ田畑耕方並諸物運送ニ使役ス使役各  
日數ハ一年間常ニ使役シ只々無セシムハ祝  
祭日雨天又主人病氣又際ノト又牛馬ノ頭  
ノ負荷力ハ大依百七八十斤位牛ニ才ノ

斗百竹位一日ノ工程ハ五百坪位ナリ  
外貌別段良否ノ諸点ナクハ助逞マシク  
性質柔順ナルモノヲ良シトス

五村ハ別ニ家ニ由スルヲナケル其生産屠殺等  
数ヲ記スルヲ要セサルモ繫牛馬並牧場中  
数ヲ記スルハ一年間生産スル数ハ牛馬合  
三百三四拾頭ノ当リ屠殺数ハ全六拾頭位  
輸出ハ指頭程斃ハ年年三拾頭位ナリ  
疾二病ナク只瘡衰又ハ衰老ニテ死スル  
疫癘アリシ年ハ今ヨリ拾年前ニテナリ

其病原因何々ヲ知ルモノナク又豫防治療  
法アリシヲナシ平常腹痛ノ如キ見認ムルハ  
蒿草類ヲ焼キ腸部ヲ暖ム等ノ一止マリ別  
療スルヲナシ

別段産業ヲ職トスルモノナク又全業注  
改良方法等ヲ講ズルヲナシ

八重山島白保村牧場ニ関スル調査

牧場名称ハ野名牧ト称シ村ヲ距ル三十町位ナリ  
尤近隣ニテ運輸便利ナリ

地勢ハ高キ所アリ或ハ低キ所アリテ一概論

難クハ魚ト重ク高地ナリ又地質ハ赤地黒地  
アトモ割合ミ黒土地質方々ニテ牧場内雜木  
往々般系茂スル所アリ

面積ハ約百七指三町九反壹畝指步ナリ

牧場ノ構造ハ石ヲ以テ垣ヲ築置セリ

牧草ノ種類ハ茅ヲ本ニテ芒アスヲ瀕カズラ其

他天然生ノ雜草ナリ人カヲ以テ牧草ヲ選擇スル

等ノ一ナク天然ニ生長セシ茅老衰シタラハ燒松

新芽ヲ發生セシムル事ニテ別改良方法ナシ

被陰トナルハ重ク林又ハアタニ等ノ般系茂セリ處ナリ

又畜類ノ飲料水ハ川流水ニテ所湧水一テ所溜水

ニテ所アリ水量數々々々ニテ不便ナシ

畜類ハ牛馬ニシテ

牛五百四指頭内七十八頭壯四百七十八頭  
馬四百八十六頭内六十頭壯四百二十六頭牝

飼畜ノ管理ハ四季ニ區別ナク稲粟收穫后即チ

旧六月中旬頃ヨリ稲粟播種生長セサル前即チ

早二月中旬頃迄ノ間ハ閑牧ニシテ牛馬ヲシテ食草ナシ

自由ヲ與ヘセシム其他ノ季子朝ハ閑牧ニ牧ホサト稱シ

村民ノ内毎年五人相當一人品賦立牧内ヲ巡視シ

牛馬ヲ牧外逃走セシメズニテ作物ノ被害ナカラシム

又ハ牛馬ノ被害アラサル様守護セシム

九

十

十一

十二

十三

十四

交尾ハ人ヲ以テスルナクニテ各自然ク交尾ナリ

蕃殖ハ漸次級系榮ノ模様ナリ

畜類使役ハ天水田ヲ踏摺フ際較系牛ト共使役

馬ハ畜田牧中使役スルナシ

畜類販賣ハ主方ノ勝手ニ任ス價格ハ平均八四

位ナリ別段販賣ノ方法ナシ

牧羊ノ數ハ百三十七人且ツ牧羊トナルハ牧羊人數

相談ヲ伺ヘ牧羊人數ノ許シ得テ活ニ牧羊トナル

牧場管理人ハ第九條中講シタル牧羊人ナシ

羊目ノ守護ハ右ボサ勤務ストル畜牧大修理繕及

其他臨時非常ニ依リ大ニ人夫ヲ要スルハ牧羊  
人數共同ニテ相達ス

十五

牧場維持方法ハ前年旧二九月頃二回牧祝ト

稱シ牧羊人數ハ出會ニテ牛馬ニ所寄集セシメ

牛馬一ニテ調査シ子生産アリシ片ハ各自ノ判形

耳、付シ又較系飼年令ニ適スルモノハ實際取出シ

繫飼ノ上使役ス而シテ牧祝ヘトシテ酒宴ヲ

開キ又維持費、如キハ牧羊人數ヨリ毎年米斗石

旧六月頃割符徴收シ直ニ右牧ボサニ送與ス

十六

牧場ノ格別ノ良点或ハ欠點ナクニテ東シ海涯ニ接

半馬沐浴スルニ便利ナリ

作米閘花ノ景况

新城村人民等傳本年度作付稻ハ客年十二月  
初頃播種ニ本年二月初頃ヨリ三月初頃迄抑秧ス  
時節相當ニテ亦后用水潤澤アリ故頗々好况  
ナリ又ハ客年七月頃早鬼セテ故ニヤ四月初頃ヨリ  
稻葉ニ黒星等ハ病癘シ生ニ終葉殖不ニルカニ  
甚キハ枯朽シタルモノ間マヤリ漸ク全月末頃ヨリハ  
右病癘相去リシモ閘花ノ除即々五月初頃ヨリ  
降雨少ク為メ天水田ハ水全ク涸リテ亀ガ裂生シ

水田ハ水全ク固タリニハアラ子氏其成云月ノ形勢亦  
年頃ナラヌ出<sup>穂</sup>スルニモ甚ク困難<sup>出穂</sup>シ故ニ同所同時  
植付セシ稻モ年年トハ大ニ異リ<sup>出穂</sup>數日間ノ前後ヨリ  
出穂ニ各ナラヌ亀裂セシ場所如キハ猶更ノ  
不良不齊ニ及令今后降雨潤澤シ得ルモ既ニ  
期節過キシハ方マシ効ナカルベシ然ハ出穂ノ  
割合ヲ舉クレハ水田ニシテ早<sup>早</sup>作セシ稻ハ五月頃  
迄何モ開花ス中他ハ多クハ亀裂セシ場所及晩作  
等ハ多クハ四程開花セリ以上ノ如キ終葉殖不良モ穂  
一各ナラサルモ先ツ大豆実ノ模樣宜取モ宜目下ノ





新城村後三島地少民格同の如し利半母  
マカト私生男真依ナルモノ目下存せし志ツ知  
は程之藉志ニ在ル者ナリ此等ニ該母マカト儀  
麻布志ニ他人ノ目ニ觸ルコトヲ悔リ村ヲ離レ志ス所  
別荘ヲ構ヘ現任ニ在リ依テ日雨松ヲ出度改メ  
名所舟ノ日居セシ有故前名ヲ改メ今際ニ元  
見セス且ニ其々々々モノトシテ今取  
至リ別荘ニ過リ就藉取出度改メテ元見シタル  
不意其ノ中ノ者情別也今就藉清浄可  
お成度ハ私清浄可成度ハ私清浄可成度

新城村後

弘化元年六月

宮良高徳

三島司村道安殿

三藉名就藉預

新城村後三島地少民格同の如し利半母マカト私生男

真依

弘化七年二月十日

右利半母マカト私生男真依ノ目下存せし志ツ知  
は程之藉志ニ在ル者ナリ此等ニ該母マカト儀  
麻布志ニ他人ノ目ニ觸ルコトヲ悔リ村ヲ離レ志ス所  
別荘ヲ構ヘ現任ニ在リ依テ日雨松ヲ出度改メ  
名所舟ノ日居セシ有故前名ヲ改メ今際ニ元  
見セス且ニ其々々々モノトシテ今取  
至リ別荘ニ過リ就藉取出度改メテ元見シタル  
不意其ノ中ノ者情別也今就藉清浄可  
お成度ハ私清浄可成度ハ私清浄可成度

夫一切不存付今日至心付甚事也  
亦不執事特別し清淨済むる何事今取  
能藉済淨可成下後視族之業也  
此後守其地也

治承六年六月廿二日

横目河加三利

視族三島池

治承津臣

三島三島池

平田貞和

沖繩縣志事男爵志原繁榮

作米関花、景况

當新城村人民等本年耕作、稻、過、一月中旬  
頃、全三旬頃迄、柳、秋、時、即、甲、雨、ナ、ク、以、後、患、雨  
降、下、用、水、加、減、ニ、シ、テ、潤、澤、ユ、ク、カ、ナ、リ、ニ、故、生、立、頗、ル  
好、况、ナ、リ、ニ、モ、早、作、ノ、稻、生、立、其、度、過、タ、ル、故、カ、處、之  
葉、面、ノ、黒、黒、病、癘、シ、生、ニ、葉、先、枯、凋、ス、ル、タ、ク、キ、ニ  
非、ス、ト、モ、在、リ、カ、密、月、中、旬、頃、ヨ、リ、右、ノ、病、癘、ヲ、集、ニ、退、去、シ  
今、ヤ、八、分、通、リ、関、花、セ、シ、モ、模、様、見、事、中、作、及、晚、作  
ノ、稻、ハ、幸、ヒ、無、事、ニ、シ、最、早、中、作、七、分、晚、作、五、分、通、リ

開花ニ至ルルル來月初頃迄ハ有クハ開花スルバシ  
目下開花ノ景況ニテハ尚後凡順通ニ與ヒ上作  
及ハサレトモ中作ハ至ラザル見込ナリ  
右報告ニ矣也

新城村頭宮良多整代理官

明治三十二年十月九日

宮良多

八重山郡間切後場村

麥作成績ノ景況

新村<sup>新加</sup>人民耕作ノ小麥裸麥ハ各年十月下旬  
ヨリ十月中旬頃迄ニ播種ス時即例年比三九日

程遅カリ又亦右雨量宜クナルモ氣候不適順ナルニ  
致ス殖草葉充クナリ且出穂時分即チ二月  
初頃屢ニ惠雨降下シムルニ結果適順ノ麥ナリ  
三分半就<sup>シテ</sup>除即チ三月末頃降霧ノ害ヲ受テ故  
ニヤ種実適順ノ成就參<sup>ル</sup>ル收額例年比五分  
作<sup>及</sup>ハガレ此下作ハ至ラザル見込ナリ先<sup>ニ</sup>及<sup>テ</sup>平均  
収獲見込高京麥ニ斗ニ合六斗六升裸麥ハ三斗三升  
八合六斗作付及別ノ麥<sup>ニ</sup>斗九畝六斗裸麥ハ斗及畝  
拾五斗合ニラセ町ニ及<sup>テ</sup>畝計拾<sup>五</sup>斗ナリ

新城村頭宮良多整代理官



但此六等古本第一様身也  
但此六等古本第一様身也

但七三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但七三三三三三子古本第一様身也

但三三三三三

但馬次權年六十六年三月廿七日

五四月

但大之四人其一人は子守を

生つて来

但壱新七り代そりて来れ

生て同方来

但人更つた人の子守を

其海に流れ也

但流年一月九月

信成古

但流年一月九月  
古流年一月九月

一 上之記より同の記を来

但流年一月九月  
但流年一月九月

多し流成り也

但流年一月九月

但流年一月九月

但流年一月九月

但流年一月八月二十日  
但流年一月八月二十日

依りて同の記を来  
依りて同の記を来

但流年一月九月  
但流年一月九月

但流年一月九月

但流年一月九月

此等如人義士希將立付弱体、身ヲ月日  
 一、同、勤シク一家ヲ維持スル能ハス平日  
 飲食衣履等々收支、必補助スルニテラ  
 日用、被道等々、列陳シテ、分  
 遣財存シ、故申付、ハ、力、可、考  
 然、臣、到、申、付、也

以、後、年、一、年、五、月、九、日  
 心、官、長、以、力、可、考  
 心、官、長、以、力、可、考

徵集免除願對スル取調事項

一 願人一家中、生計上、一、年、間、要、ス、ル、費、用、及  
 一 人、平、均、額

願人一家中、生計上、一、年、間、要、ス、ル、費、用

高金百九、四、五、拾、束、ニ、ミ、テ、一、人、平、均、額、拾、八

四、五、拾、束、一人一日ニ金五束、一  
見ハシメテ計四束セリ、ナリ

一 全耕作田畑、反別、及、其、收、益、高、租、貢、租、公  
 費、等、シ、差、引、ク、純、益、高、シ、云、一

田畑、反、別、九、反、五、拾、四、步、ニ、ミ、テ、廿、收、益、金、百

拾、七、四、七、拾、五、束、五、匁、平常食料、年、歳、及、又、殊、餘、  
ノ、分、ニ、モ、此、日、金、ニ、取、テ、計、算



一 金売其他貸附金高及利子、收入高

元來亦負者ナル付金売、貸附ナシ

一 家族職業及其職業ヨリ得ル一年間、

收入ナシ

一 貢租公費其他、負担高

貢租負担額三四七拾三兩四匁

間切費負担額三四六拾三兩四匁

村費負担額九拾九兩四匁

貯蓄苗米七坪三合六勺六分

一 宅地及家屋、有喪

宅地及家屋ヲ有ス

一 壯丁者家族、所有財産

壯丁者家族、有財産ナシ

一 最近親類縁者、住所氏名及其生活程度

新城村中拾九番地牛氏鳩間武慶志ハ壯丁者ノ

実弟ナルモ該家前ニ主鳩間及良子ナキニ

依リ養良嗣子トナリ今更ニ家統相續セシモ

當身、成熟薄シ最モ該養良母トシテ

年數ハ尚、或踏々タル老婦トシテ二人共一家シ

維持スル能ハス該家所有田畑モ壯丁者ノ  
監督助カシ以テ耕作シ且右兩人平常ノ  
養生ノ方モ今人ノ者ヲ護アリシ又次ハ全村  
三指<sup>三</sup>番地子民西件加那ハ母方從兄違ナリ  
シガ其生計ノ程度ハ貧窮窮乏ニテ活計  
上困難漸ク相營ミ居レリ

一壯丁者ガ主トシテ其一家ノ生計ヲ維持スル  
コトナリタリタ九年四月日

父加那ハ明治二十七年九月ニ病死母ケシニハ  
數多ノ家族ヲ素ノ喰食衣服供養整

迄ニ漸ク修理シ他ノ職業シニ置ガル故今年  
十一月ヨリ重ニ一家ノ生活ヲ維持シ居ル  
ト云フ

一家族身体ノ強弱

家族ハ右ノ通婦人且幼年身ナリ

一兵役シ免カレシガ為メニ事故シ作爲シタリ  
事跡ハナキヤ否ヤ

右壯丁者徵集免除ノ出願ノ前項ノ通  
本人徵集ニ應ズルハ從來ノニ産業ヲ維持シ  
能ハサルハ勿論兩家共ニ生計上困難シ

極く有状にて止り得る事情より出願  
久しきト認ムラレ兵役の免カレシカ為メ  
殊更之事故の作爲に多ク跡形ハナ  
右之通相違衆之矣也

石垣間切新城村頭

明治三十二年一月

宮良富整

一 本表調査の麥草普通生立の場所  
新城村世二年作付、大不稔麥二坪收額  
例調査、備考

撰定刈採種実、例の挙ケり然りと當村地  
所マ嘉阿の壘置ミ且根石脈運り幡布  
殆ト夫及こり今般耕作セミ麥畑、内モ  
稟的指多中三分程の以テ如キ石原ニ  
麥草二三本乃至四五本或ハキ本モ  
セガ場所モ有セリ去十カウ作付及別  
要スルハ嘉阿及幡布、石脈等ニ減  
シ客易チラス空ク面積、部  
斯クナルヲ以テ作地全体均收獲  
評セハ各給共表中一記入、数量ヨリ應分

咸少ナリヤ

一 登実ノ等結ニ評スル高村村於ニ満作被  
先ッ本年ノ類似ノ作柄ニ尋ル今ニ距ニ拾年  
以前ニ是度アリ想フ今度、如キハ拾年乃至  
半拾年ニ是度程ノリトハ実ニ此子ノ豊作ト  
云フベキナリ

大味海子何多そ必致海舟助教件廿二事

形件廿二事急也年々

大味海子何

急也年々

登野原保久重

右海子何多そ必致海舟助教件廿二事  
識交ト云留之者ト云的ノ系舟水子ト云テ本年  
二月廿一日於村ノ海、際亦爾本流有也如高池  
年々ノ門ノ夜が英外ニ名示高ハ石位ノ沖居テ  
激浪力ハ系舟類覆後海中ノ流流九死一見ノ海  
至リムルシ流ト助教弦也送居也此限中ノ出  
可シムル也保ノ義人信高也、我ニ其也  
附人ノ仁心勸道守ノ為、特別シ多相之也  
津屋賞社本ノ也此限ノ中ノ事也

水俣五郎

延治二年正月廿二日 宮良長為整

重山島司野村道安殿

交々作成熟、景況

嘗新城村民等作付、大小裸麥、播種自雨量  
可、氣候適順アリ、而之、繁殖草立成長、  
等級の差、土地、肥瘠、依り、甲乙、不易論  
之、アルニ各場所、品質、其、之、應、之、評、スル、中、ハ  
何モ、良好、コト、テ、登、実、之、亦、最、モ、宜、リ、收、額、大、  
増、之、近、年、罕、リ、豊、作、ナ、リ、先、ツ、キ、反、步、ノ、率、均

收、獲、見、込、高、大、麥、セ、斗、五、年、キ、合、斗、七、月、小  
麥、三、斗、七、升、三、勺、八、分、裸、麥、三、斗、五、升、三、合、作、付、及  
別、大、麥、七、畝、拾、六、步、小、麦、九、反、七、畝、拾、步、裸、麥、又、  
七、畝、及、四、畝、拾、三、步、合、シ、テ、七、町、七、反、九、畝、拾、九、步、ナ、リ  
右、報、告、云、矣、也

新城村頭

明治廿二年正月廿八日

宮良當整

八重郡間切後場御書

第六八三号

客月廿八日付、以テ新城村大井波知伊外

吉名褒賞方申出候處右ハ自己ノ危険ノ省  
ミ入ミテ救助セシ義ニ異哉其當時書面中  
簡單ニ有之矣ニ付其當時救助セシ有様即  
ク一人又ハ二人身ノ海中ニ投テテ救助シ  
タルヤ只舟ノ漕キ寄セ救助シタルヤ其他  
詳細取調至急回答可有之此段及通達矣也  
明治三十二年五月六日

釜山島廳

新城村頭

宮長三敷殿

明治三十二年五月六日付六八三号シヨリヨリ  
わが本藩を以テテ谷船法舟救助セシ其時  
亦亦詳細に問答有之ニ付其時通達ニ以  
テ承知其旨ニ付其時申上申上申上申上  
申上後其旨ニ付其時申上申上申上申上  
舟シテ其旨ニ付其時申上申上申上申上  
申上救助シタルニ付其時申上申上申上  
申上ハ其旨ニ付其時申上申上申上申上  
自己舟ノ危険ナカラ候様也其旨ニ付其  
セシ其旨ニ付其時申上申上申上申上



且ツ栽培、是ヲザルハ亦々既作ト一般然、  
而モテ本月中旬頃ヨリ早作ハ女ヲ刈始メ  
及レハ八月中旬頃迄ニハ何モ刈採、見込  
ナリ  
右報<sup>音</sup>矣也

新城村頭

明治世二年五月廿二日 宮三良當整

重山郡間切役場御下

春季原勝負景况

當<sup>揮</sup>新城村民等春季原勝負、件御指ニ依リ

本月十一日ヨリ全世日迄十日間期日の定メ  
上地下地両手ニ分ケ故麻青豆耳諸播種挿  
付方勝負シ以テ働カシ全世一二日両手、役  
者等同一検査ヲナセリ勝負ハ十五歳以上  
五十歳迄<sup>子</sup>ハ指各五十一歳以上<sup>子</sup>ハ各  
取互貫脩業ノ成績平均スルコト上地ハ一人  
ニテ九坪宛働勝セシニ依リ褒詞シタシ下  
地ハ以上ノ坪数働劣セシ故嚴重勸諭シ加  
タリ然リ而シテ負劣ノ方則々下地、惣代  
田ボサシミテ上地、惣代田ボサシ向對頃



首説白の力サシメ以テ輸贏、效驗の表セリ  
右報告矣也

新城村頭

明治三十二年五月廿五日 宮良當整

金田郡間切牧場御事

作米開花ノ景況

當新城村民等本年耕作ノ稻ハ二月上旬頃  
ヨリ三月中旬頃迄ニ插秧ス時節相當ナルモ  
二月中旬頃ヨリ三月中旬頃迄降雨ナキ故メ  
天ノ田ハ水汽考田面亀裂シ生ニ苗挿付ノ

後ノ葉黃褐色ニ変ヒテ成長セザル、ミナラス  
枯朽ノモノ間マヤリ水田ハ用水缺乏ニ至ラ  
ザレハ左マテ被害ナカリモ其成育ノ形  
勢亦不順ナラス然ルニ三月中旬頃降雨水  
田ハ水量ノ増シ且ツ草葉灌水ノ養ヲ得ラ  
草立一層勢ヲ添ヘ成生アリモ雨量寡カキ  
依リ亀裂セシ場所ハ潤澤ヲ受得ス三月下  
旬頃ヨリハ間マ降雨四月未頃ハ大雨ニ  
潤量充多ク富モタルモ数日間ハ早魃故  
其亀裂水中ニモ固存シ且ツ発育ノ時節ノ

過ぐしハ左程ノ効ナシ然リ而シテ早作ハ  
何モ穂虫捕中作ハ十分中二分晚作ハ所マ  
開花ヲ始マレリ以上ノ如リ枯朽ノ場所ア  
成長ヲ得タリ部々ハ目下ノ景况稍良好  
見込ナリ  
右報告ス也

新城村頭

明治世二年五月廿六日 宮良當敷正  
八重山郡間切役場御中

採仕仕候過取事共都門お氏所下牧牛ニ伴  
而配慮ニ外ニ年々増取如後其係從憲局々  
ガツガキ石壁築造ノ者ハ之ヨリ着手ノ時  
負數等田課ニ少ク差出サスノヨリ其後代  
ハ人取ヲお氏ノ表ニ止日課以辰ノ他ハ牛  
石壁築造着手ノ所ガ其前日取ノ者  
止キカ農務局々ヨリシヤハ人負取ノ者  
羽三古昔未取ガウサキハ其部其依日  
取三日月ヨリ為事ノ豫定ノ者ハ其  
家御休務を以ルル子孫代ハ大ニ達日